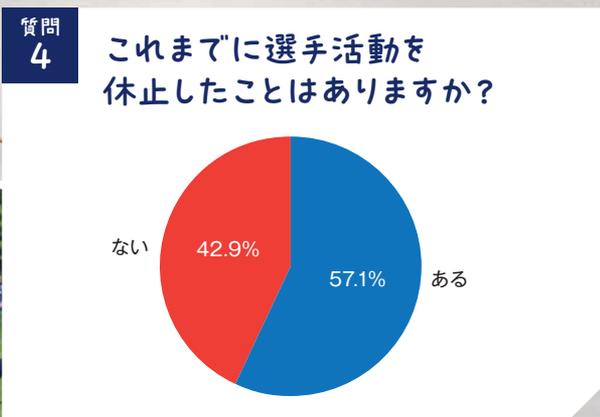
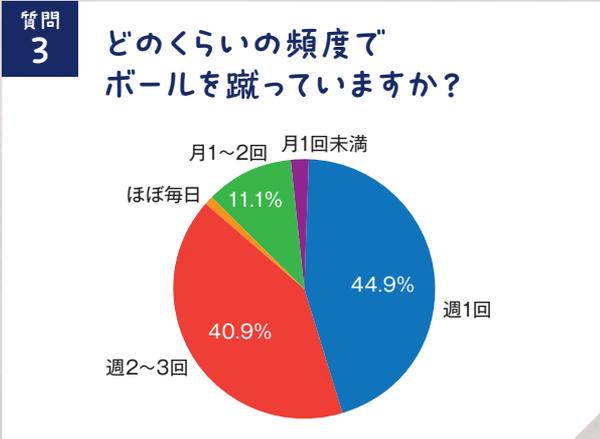
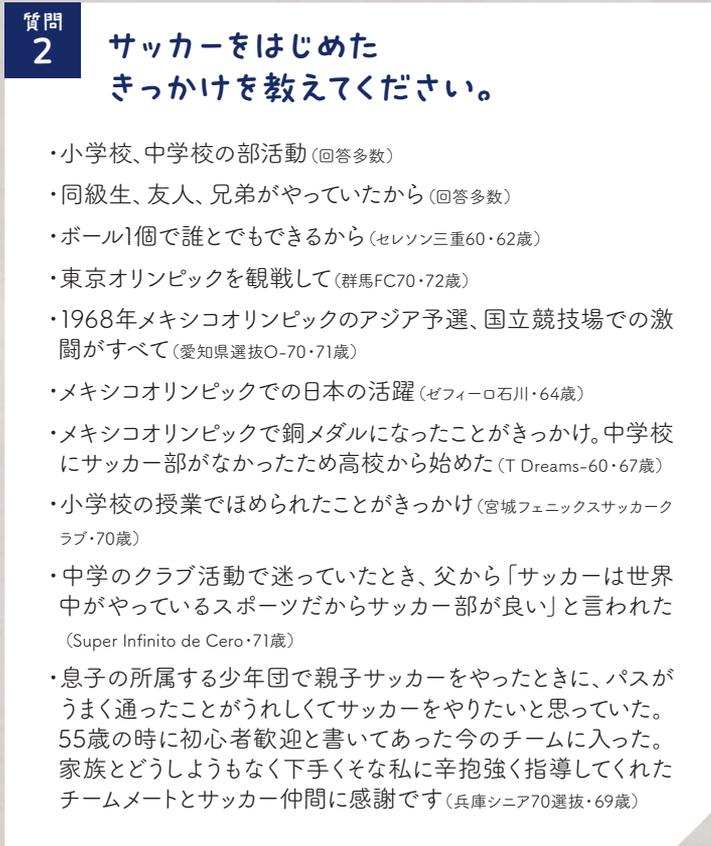
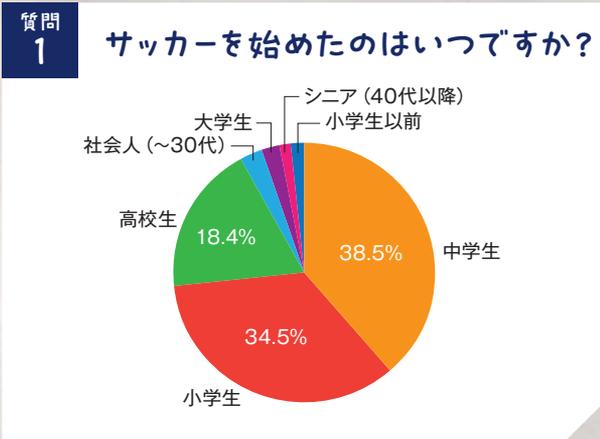


選手アンケート

JFA 第18回
全日本O-70サッカー大会

JFA 第24回
全日本O-60サッカー大会

「JFA 第18回全日本O-70サッカー大会」と「JFA 第24回全日本O-60サッカー大会」に参加した選手の皆さんにアンケートを実施し、サッカーの経歴やサッカーをプレーすることへの思いなどを聞きました。
 (アンケート期間: 2024年6月8日~10日 / 有効回答数: 425人)
 ※コメントはご回答いただいた中から抜粋・一部編集して掲載しています



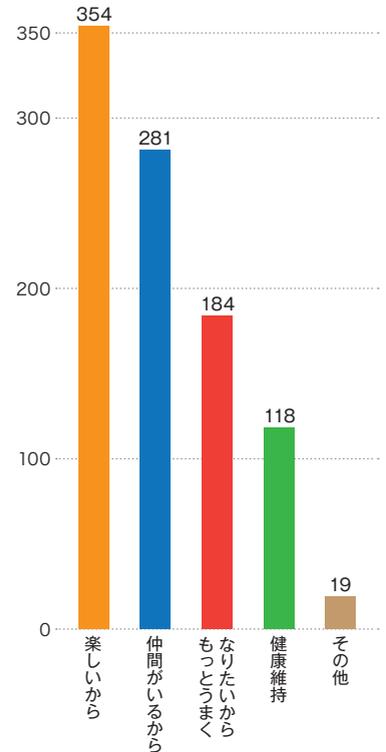
質問 5

質問 4で「ある」と回答された方へ、休止した理由と復帰した経緯、復帰するにあたって苦労したことなどを教えてください。

- ・30代後半から転職が続いていたのでできなかったが、50半ばで群馬に戻り、再開した(群馬FC70・74歳)
- ・子どもが生まれたため活動を休止。子どものサッカーコーチとして活動再開したところ、シニアサッカーに誘われて今に至る(埼玉シニア60・69歳)
- ・仕事が忙しくなったから。退職を機にもう一度サッカーをしたかった。苦労したのは復帰後、けがが連続したこと(セレッソ三重60・64歳)
- ・サラリーマン生活で役職位が上がり、多忙になって休止。退職後、健康維持として昔のサッカー仲間から誘われて再開した(兵庫県シニア70選抜・73歳)
- ・仕事でやる時間がなかった。55歳で大学のOB会に参加したことがきっかけ(千葉四十雀サッカークラブ・63歳)
- ・25歳の時に仕事が忙しくてやめたが、40歳で現在のチームと出会い、再開した(羊ヶ丘オールドキッカーズ2002/OV60・68歳)
- ・社会人リーグで28歳までプレーし、その後は仕事、子育て、ゴルフでサッカーから遠のく。52歳の時に単身赴任地の室蘭で後輩に誘われ、O-40のチームでサッカーを再開(FC70室蘭・76歳)
- ・入院したため。チームメート、家族の支えがあって復帰できた(えひめ四十雀フットボールクラブ・76歳)
- ・現役を終えた後、シニアのチームがなかったため離れた。40歳前にシニアの活動を知って復帰した(福岡飛び梅60SC・65歳)
- ・仕事の都合で転職になり30年間中断。再開時はルールも変わっていて、サッカーの浦島太郎さん状態だった(兵庫県シニア60選抜・65歳)

質問 6

サッカーをする理由は何か？(複数選択可)



質問 7

「サッカーが楽しい」と思う瞬間や「サッカーの魅力」、これまで忘れられない出来事を教えてください。

- ・「ゴール!」の瞬間(えひめ四十雀フットボールクラブ・76歳)
- ・楽しい仲間と一つの目標に向かって精進し、大会で優勝すること。この年で初めて全国大会に出場することができたこと(Super Infinito de Cero・71歳)
- ・仲間と同じ目標に向かいボールを蹴り走る(セレッソ三重60・62歳)
- ・仲間と過ごす時間が楽しい(T Dreams-60・62歳)
- ・復帰試合で楽しさをあらためて感じた(千葉四十雀サッカークラブ・71歳)
- ・得点したときの感動、アシストしたときの喜び、チームの一体感(兵庫県シニア60選抜・60歳)
- ・この年齢になっても一つのことに熱中できること。また、それを分かち合える仲間がいること(兵庫県シニア60選抜・65歳)
- ・上手下手は関係なく、ボールを追いかけて勝ち負けに一喜一憂できること。やっぱり全国大会は忘れられない。強豪といわれるチームと対戦できて相手に認められることはうれしい(ゼフィーロ石川・60歳)
- ・仲間と共に、笑い、わいわい言いながら汗を流すこと(愛知県選抜O-70・70歳)
- ・できなかったプレーができるようになった達成感が楽しい。プレーを通して瞬間的に物事を判断する力がつく(兵庫県シニア60選抜・63歳)
- ・得点を決めるとき。選抜チームに参加できたこと(広島県シニア60合同チーム・61歳)
- ・サッカーをしていること自体がもう楽しい(アルフット安曇野シニア・59歳)
- ・自分が思うようなプレーをできたときや仲間や相手チームから試合後に「ナイスキーパー」と健闘をたたえてもらったとき(T Dreams-60・67歳)
- ・自分が課題としていることがうまくいったらとても楽しい。サッカーの魅力は奥が深いということだと思う(兵庫県シニア70選抜・69歳)
- ・日常から外れて無になれる。歳を重ねても体がまだ動くということを実感するときに楽しさ、魅力を感じる。汗を流した後の「ミネレーション」も最高(Super Infinito de Cero・75歳)



質問7のつづき

- ・みんなで勝利を目指し、得点を取ること。また、大会を運営することも楽しい(長崎県選抜・61歳)
- ・自陣からダイレクトパスを6回ほどつないでシュートが決まったことがあった。これは、忘れられない(秋田シニアサッカークラブ・65歳)
- ・高校、大学、社会人で対戦したメンバーと同じチームで県を代表してサッカーができることが一番のモチベーション(秋田シニアサッカークラブ・63歳)
- ・初めて静岡選抜のユニフォームをもらったときのことは忘れられない。夢をみているような気持ちだった(静岡県選抜O・60・59歳)
- ・仲間と一緒に、勝ちも負けも全てを共有して、また次にうまくできるように頑張っていける(広島県シニア60合同チーム・62歳)
- ・できないことができるようになったとき。子どもの頃の勉強の面白さと似ている。分からないことが分かったときの楽しさ(京都O70・77歳)
- ・中学、高校と全国大会には全く縁がない選手だったが、シニア年代になりチームにも恵まれ、マスターズやシニアの全国大会を経験できた(ゼフィーロ石川・63歳)
- ・シニア年代でもサッカーを続けてきたが、不慮の事故や病気で亡くなったチームメイトに良い結果を報告するために目標を持つ

- で頑張っている。現チームの前身である室蘭シニアSCの成績は全国準優勝、それよりも上を目指したい(FC70室蘭・73歳)
- ・ボール1個でみんなが笑顔になれる瞬間が毎回必ずあること。教え子たちがたくさんいるが、サッカー部でつながった子どもたちとはいつまでも変わらない関係でいられる(八戸ゼブラSC60・65歳)
- ・自分でゴールを決めたときに最高の気分。そして、その喜びを共感してくれる仲間がいることがサッカーの醍醐味。忘れられないのは、後半アディショナルタイムに自分がゴールを決めたことで、リーグの逆転優勝ができたこと(ゼフィーロ石川・64歳)
- ・年齢が増しても同じカテゴリーで試合ができ、交流できることが楽しく感じる。若い頃は全国大会で優勝する機会もあったが、それよりも今、健康でボールを蹴れていることに、さまざまな人に感謝したい(秋田シニアサッカークラブ・69歳)
- ・体がだんだん衰え、パワーもスピードも落ちていくが、少しでもうまくなろうと努力し、頭を働かせようと工夫することが楽しいし、励みにもなる。仲間と楽しく、時に厳しく真剣にサッカーでコミュニケーションできることが魅力。50代のときに全国大会で3連覇できたこと。中学、高校、大学と全国大会とは全く縁のなかった自分にとって初の全国制覇でそのときの感激は忘れられない(Super Infinito de Cero・71歳)



後輩たちへのメッセージ

年齢に関係なく、仲間と楽しくプレーできるのはいいものですよ (セレソソ三重60・61歳)

けがをしな、させないが一番！楽しくやろう！
(千葉四十雀サッカークラブ・62歳)

いくつになっても年相応のサッカーがあります。ライフステージの中でサッカーがしにくくなる時期もあるかもしれませんが、環境を整ったらぜひ再開してください。こんなにも楽しいものは他にないのだから
(ゼフィーロ石川・64歳)

こんなに面白いスポーツはありません。いくつになっても続けていけます。上手になれます。サッカーを楽しみましょう
(Super Infinito de Cero・71歳)

生涯現役!!仲間とサッカーを楽しみましょう
(アルフト安曇野シニア・60歳)

サッカー仲間ができたことで人生が変わった。サッカーは自分にとっても財産であり、そのことを後輩に伝えていきたい
(FC70室蘭・73歳)

何歳になっても相手に対してリスペクトを忘れず、サッカーを続けてほしい
(群馬FC70・72歳)

60代、70代になっても全国大会という挑戦の場があることは、日本のサッカー文化の成熟を思わずにはいられません。ご自身の可能性を諦めず、これからも共にボールを蹴り続けましょう
(静岡県選抜O・60・60歳)

60代以降のサッカーが一番面白い
(兵庫県シニア70選抜・75歳)

選手アンケート

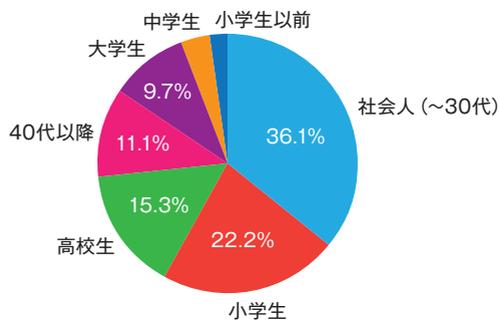
JFA 第35回 O-40女子サッカーオープン大会

3月8日から10日にJヴィレッジ（福島県）で開催された「JFA 第35回O-40女子サッカーオープン大会」の参加選手の皆さんにアンケートを実施しました。サッカーを始めたきっかけやサッカーをプレーする理由、その魅力などを聞きました。

〔アンケート期間：2024年6月7日～16日／有効回答数：73人〕 ※コメントはご回答いただいた中から抜粋・一部編集して掲載しています

質問 1

サッカーを始めたのはいつですか？



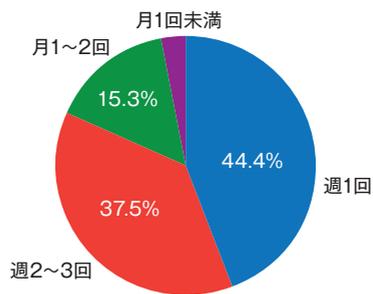
質問 2

サッカーをはじめたきっかけを教えてください。

- ・子どもがサッカーを始めたことがきっかけ（回答多数）
- ・子どもたちがサッカーを始めて一緒にボールを蹴るようになった。地元チームの練習を手伝うようになって指導者と審判員の資格を取り、さらに地元でママさんサッカースクールが開講され、参加したことがきちんとサッカーを始めたきっかけ（FC VIGOREレディース・56歳）
- ・小学生の時にJリーグが発足し、サッカーが流行っていたから（FC.TONレディース・42歳）
- ・漫画の『キャプテン翼』に憧れて（FOOT CRUSADERS・47歳）
- ・男子サッカー部に女子が交じってやっているのを見て、自分たちも女子チームを作ってやりたい!と思ったのがきっかけ（リャンボナミ・40代）
- ・父からサッカーボールをもらったこと（LFC TOYOTA・46歳）
- ・弟がサッカーをしていて、練習相手を頼まれたことがきっかけ（FCべにばな・45歳）

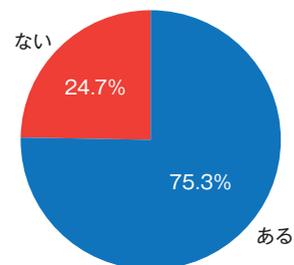
質問 3

どのくらいの頻度でボールを蹴っていますか？



質問 4

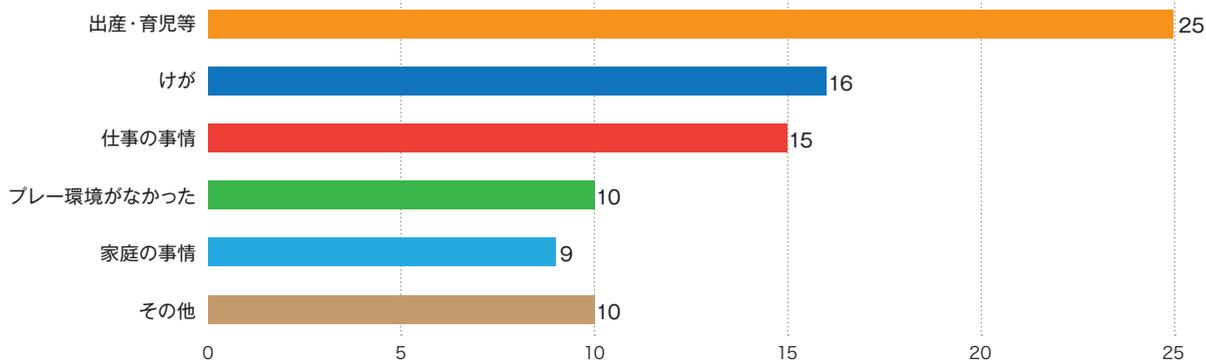
これまでに選手活動を休止したことはありますか？



質問
5

質問4で「ある」と回答された方へ、その理由を教えてください。

(複数選択可)



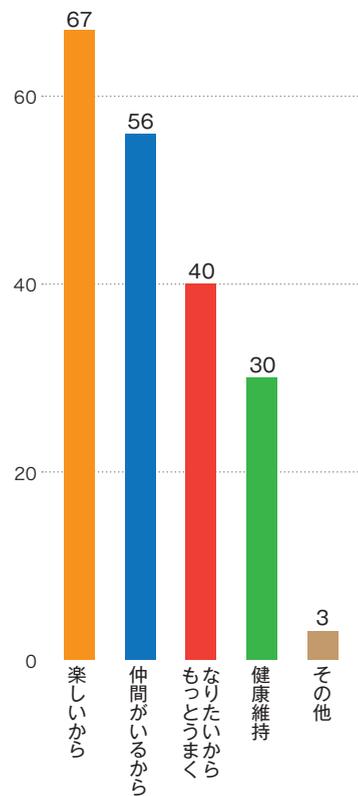
質問
6

質問4で「ある」と回答された方へ、復帰された経緯や復帰にあたって苦労されたことなどを教えてください。

- ・やっぱりサッカーが好きなのと、チームメイトとのつながりが大事だったから (千葉・ベイサワーズ・62歳)
- ・中学生の外部指導者をしていて自分も楽しみたいになった (Femino・55歳)
- ・O-30、O-40の全国大会が開催されたこと。けがから復帰することを待っていたくれた仲間がいたから。(苦労したのは)練習する環境が少ないこと (FC.Vイレブン・47歳)
- ・アキレス^{けん}腱断裂や骨折などでサッカーができない時期があった。家族からもけがの心配からサッカーをやめた方がいいと言われたこともあったが、家に引きこもるお母さんよりは、楽しそうに動いているお母さんの方がいい、と家族が認めてくれ、今に至る。家族の理解なくしては続けることはできなかったと思う (LIPS・49歳)
- ・高校時代の仲間がまだサッカーをしていて、また一緒にやりたいと思ったので復帰した (FC.VIDA Feliz・43歳)
- ・靭帯^{じんたい}断裂や骨折などを理由に休止したが、あまり復帰に苦労は感じなかった。むしろ復帰がうれしくて (FC フロンティア・56歳)
- ・出産後、体力を戻すのが大変だった。でも、仲間に支えてもらいながらサッカーに復帰することができ、そこでやめずに続けてよかった (FCマミーズ・46歳)

質問
7

サッカーをする理由は何か？ (複数選択可)



「サッカーが楽しい」と思う瞬間や「サッカーの魅力」、 これまで忘れられない出来事を教えてください。

- ・プレーしていると楽しい、褒められるとうれしい (JUVEN.FC.FLOR・63歳)
- ・チームの仲間と気持ちが一つになる瞬間 (ボルト神戸FC・57歳)
- ・自分の頑張りを褒めてくれる仲間がいること (リャンボナミ・46歳)
- ・勝ったとき、負けたときの悔しさ、全てを仲間と共有できること (千葉・ベイサワーズ・62歳)
- ・たとえ若い頃のように体が動かなくても、勝つことのうれしさ・楽しさは変わらないこと (Feminino・49歳)
- ・仲間との考えが一致したプレーができ、得点につながったとき (LFC TOYOTA・50歳)
- ・仲間とサッカーの話をするのが楽しい。サッカー以外のイベントも多くてさらに楽しい (FC VIGOREレディース・48歳)
- ・けがもしたし、年を取ったけれども、うまくなったと実感できるころ (LIPS・45歳)
- ・O-40でまたサッカーを始めるきっかけをもらった。たくさんの仲間ができ、たくさん笑い、この年齢になって悔しい思いをしたり、怒られたり、もっとうまくなりたいと思って練習したり、また青春してるなぁと思う。やっぱりサッカーは楽しい (LIPS・48歳)
- ・自分にとって初めてのスポーツがサッカーだったこと。東北大会で優勝した年に癌の手術をして、その2か月後に全国大会に出場したこと。その時に見た空がすごく青くて心に沁みだしたこと、この年齢になっても一緒にやってくれる若者たちがいること (リトルスターズ・65歳)
- ・練習はあまり集まってできないので試合を中心に楽しんでいる。仲間とゴールを守り、攻撃では少ないチャンスをなんとか生かしてゴールになったときは、DFなので後ろから喜んでいい。サッカーがあるからつながった仲間たちと長年いろんなことをして楽しんでいる。思い出を振り返ったり、新たな思い出ができたりと、まだまだ続きそう (FC.V.イレブン・49歳)
- ・大人になってから始めた選手がほとんどなので上達も緩やかで、珍プレー・好プレーでいうと珍プレーの方が多くなってしまいが、それでも時折ナイスパスからのナイスシュートやCKから決まったときは高揚感が得られて最高に楽しい。もちろん珍プレーはまた違った楽しさがあって笑い合える (オール成田・47歳)
- ・サッカーを始めて20年たった頃、モチベーションが上がらずに惰性のような感覚でサッカーをしていた。そんなとき、なでしこジャパンがFIFA女子ワールドカップ優勝の快挙を果たした。その戦いぶりを目にし、感動とともにまたやりたい、仲間と共にサッカーというスポーツを、自身の生活や人生を楽しむツールの一つとして続けたいと思った。サッカーは出会いとつながり、影響されることがたくさんある (FC jewel・48歳)



後輩たちへの メッセージ

ママになっても楽しむ気持ちさえあれば続けられる。ぜひそれぞれのレベルで楽しんでください！ (リャンボナミ・39歳)

いつから復帰してもサッカーはやっぱり楽しいし、たとえ細々とした活動だとしても長く続けられたら人生の彩りになるのではと思います (LFC TOYOTA・46歳)

大人になってからでもサッカーはできる (FC jewel・50歳)

長く生きてると(笑)、いろいろ大変なことが起こりますが、サッカーをして汗を流すとどんなことも乗り越えていけると思います。サッカーを生涯スポーツとして長く続けてほしいと思います (リトルスターズ・65歳)

歳をとってもサッカーというスポーツを通して青春を感じられるのでぜひいつになってもサッカーを続けてほしいです (オール成田・47歳)

女性はサッカー続けて行く上で何かと障害があります。でも今はいつでもサッカーができる環境が多くなってきていますので、やめず・諦めずずっとサッカーに携わっていてほしいです (リャンボナミ・48歳)

うまくななくても楽しいです！ (FC.TONレディース・53歳)